

2025年・秋号

No.79

小美玉市議会だより
令和7年第3回定例会

議会だより、
新しくなったよ



P.10

12議員の視点と提案

P.04

議会はこう見た！令和6年度決算
407億円どう使われた？

P.02

議会と市民思いをひとつに
全面リニューアル！



小美玉市議会

今回公募した愛称には 54 件の応募をいただきました。ありがとうございます。

おみたいむの名づけ親である櫻井さんが議会だよりを読むようになったのは、子育てで小美玉市に移り住んだ頃。最初は少し堅いな、という印象だったとか。愛称には「タイムリーで新鮮な話題が届けられ、もつと市民が議会を身近に感じられるように」という思いを込めてくれたそうです。

新愛称

おみたいむに決定！

おみたいむという愛称には
「もつと議会を身近に

感じられるように」
という思いを込めました



櫻井有加さん(3歳児の母・下玉里)

民 ひとつに

おみ
たいむ

表紙のこのマーク、なんだと思いますか？ ひょうたん？ いえいえ、実はこれ、砂時計をデザイン化したもの。横にすると∞(無限大)にもなります。ずっと住み続けたい小美玉市へ。「市民と皆さんと手を携えて一歩ずつ進んでいきたい」という議会の思いを込めました。

市の誕生とともに約19年間親しまれてきた議会だより。議会では「もつと手に取ってもらいたい」とと全面リニューアル。
「おみたいむ」の愛称で生まれ変わりました。議会と市民の思いがこもった議会だよりへ…
どうぞご期待ください。

私たち市議会は
市民の皆さんとともに歩みます



長い人生を振り返ると、やはり議会や議員さんには市民に寄り添う存在であってほしいです。福祉を充実させ、若者の郷土愛を育み、空港のまわりも賑わうことを願います。

飯島チヨ子さん（93歳 元市内教員・倉敷）



寄り添う
存在に

前向きな
市民が
増えて



インパクトがあり、若者から大人まで読んでもらえる。そしてまちづくりに前向きな市民が増えていく……そんな議会だよりを期待しています！

島田 薫さん（高校1年生・竹原）

「議員さん一人一人の人の人柄や活動の思いが伝われば、もっと楽しく読めるはず」と笑顔で話してくれました。

議会と市 思いを



成果
残して！

小美玉市のために成果を残していただきたい。今後も議員さんの活動に期待しています！

中島幸子さん（小6小3子育て中・栗又四ヶ）

知ってほしい・
伝えたい！
リニューアル
実現までの

692 日の軌跡

創刊号
平成18年4月



2023.12

「いざ！ 体制づくり 見直しへ！」
広報特別委員会を設置し、検討を開始

2024.4

「テクニックだけじゃない！
大切なのは議会の思いと情熱」
コンクール日本一の埼玉県寄居町で学ぶ

2024.7

「せっかくやるならトコトン！
全面リニューアルに」
専門家を招いての研修会を開催。課題と具体的なアドバイスを受ける

2025.1

「市民（読者）は何を求めている？」
ネットによるモニターアンケートを実施し、読み手のニーズを調査

2025.7

「紙面デザイン、コツはこれだ！」
福岡県大刀洗町・添田町にて視察研修。デザインや編集の手法などを学ぶ

2025.8

「市民とつくり、愛称を募ろう」
愛称の公募をはじめ、実際の編集作業を開始

2025.10

生まれ変わった議会だより発行

01 みんなでつくる 市民参加型へ



編集方針も
つくりました
議会HPで
公開中！

議会の情報を一方的に発信するだけでなく、市民皆さんの声を取り上げ、共に歩む広報紙にしていきたい。市民の皆さんへのインタビュー企画も始めました。

02 写真で見せる・伝える

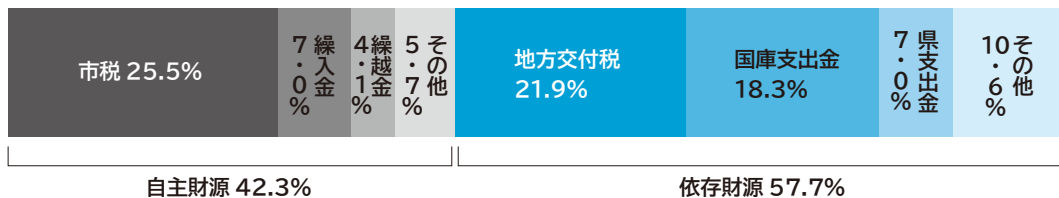
パッと見て読みたいと思っていただけるよう、文章はできるだけ簡潔明瞭に短く。写真やイラストのチカラを活かします。

03 読みやすさを追求します

読みやすく、読み間違えにくい「UD（ユニバーサルデザイン）フォント」を採用。読者にやさしい、読みやすい紙面づくりを心がけていきます。



よりよい紙面を目指して広報委員会で協議



決算特集 たいむ、

議会費 1億9,697万円
災害復旧費 2,418万円
労働費 76万円など

万円未満切り捨て

民生費 ①
福祉のために
91億5,032万円

※円グラフ内の①～⑦の
数字は、下の事業ピッ
クアップの費目と対応し
ています

どう使われた？
令和6年度の総決算額は407億円で、前年度と比
べ5・5%の増加でした。
そのうち一般会計の支出は256億6921万円で
当初予算から約15億円の増加となりました。収入は
ふるさと応援寄附金、地方交付税などの増加により
前年度と比べ約14億円の増加となりました。

407億円

ザ・議会視点
令和6年度
市のお金の
使い方

Pick Up
議会の
注目事業

教育 美野里中学校体育館を 改修 2億4,012万円

施設の老朽化に伴い体育館を改修しま
した。改修された体育館には、新たに
空調設備が設置されました。



②

子ども ランドセルを贈呈 757万円

子どもたちの健やかな成長を願い、ラ
ンドセルを贈呈。色は6種類から選べ
ます。子育て支援策としての有効性に
注目。さらなる充実に期待します。



②

子育て 出産祝い金を増額 1,936万円

支給額を見直し、第1子5万円から第
5子以降25万円まで増額しました。出
生数は年々減少傾向で令和6年度は
219人。さらなる子育て支援の拡充を
注視していきます。



①

議会の / ちょっと いいはなし



今後も注目！

「ふるさと応援寄附金」

令和6年度の「ふるさと応援寄附金」は約7億7,000万円でした。この寄附金は給食費無償化や子どもの医療費無償化などに使われています。議会では、今後もこの寄附金の活用を注視していきます。「この事業に使ってほしい」「こうなればいいな」などのご意見は、プレゼントクイズ(裏表紙)などを通して議会へお寄せください！



ふるさと寄附金制度については
こちら
(市HP)



全議案の
審議結果は
こちら
(市議会HP)



市の決算概要に
関する詳細は
こちら
(市HP)

商工費 7 4億494万円

農林水産業費 6 8億7,015万円

消防費 5 11億3,526万円

他の会計や
団体への支出等に
12億5,659万円

ごみ処理等、
まちの衛生のために
15億5,947万円

土木費 4
道路、公園整備などに
20億7,480万円

借金の返済に
26億5,851万円

一般会計歳出
256億6921万円

総務費 3
税務事務、
住民票の管理
などに
27億2,163万円

教育費 2
学校教育、
生涯学習
などに
36億
1,556万円

福祉 敬老会で記念品を 贈呈 1,842万円 ①

高齢者の長年の社会貢献に対して感謝と敬意の意を込め、ヨーグルト詰合せや年齢に応じた記念品を贈呈しました。

くらし 道路の維持補修 工事 1億8,635万円 ④

良好な道路環境を確保し、交通安全に寄与しました。

消防 高規格救急自動車 の更新 3,624万円 ⑤

高規格救急自動車を購入し、救急活動体制の強化を図りました。

農業 農業次世代人材投資 資金事業補助金 1,246万円 ⑥

次世代を担う農業者になることを目指して、新たに農業経営を開始する方に、農業開始直後の経営を確立するための支援を行いました。

観光 おみたま大空マルシェを 開催 1,000万円

令和6年9月28日、茨城空港エリアでイベントを行い、8,500名が来場されました。本市の魅力を発信するとともに、交流人口の増加を図りました。



くらし 住宅取得の一部を助成 1,630万円

若年世帯や小美玉市へ移住する方の住宅取得費用の一部を助成することで、人口減少の抑制と地域の活性化を図っています。





妊産婦タクシー利用補助金
については
こちら
(市HP)



決算に対する質
疑・答弁一覧は
こちら
(市議会HP)

安心して子育てできるまちに

出産・子育て応援事業

妊産婦タクシー利用補助金 0円

(新規事業により前年度比なし)

妊産婦が妊産婦健診・出産等で医療機関へタクシーで通院する場合の運賃に対して支払う補助金

◎令和6年度から新規事業で妊産婦タクシー利用補助金が計上されたが、補正予算で減額となった。令和6年度の実績と今後の方針を伺う。

▲令和6年度の利用者は0件であった。今後は、対象者のニーズを反映した制度の見直しを進め、利用周期の修正、助成内容、助成額の見直しを図り、妊産婦が安心して、出産・子育てに臨める環境の整備を進めていく。



妊産婦を支える応援制度の見直しを行い、安心して出産・子育てができる環境整備を目指す。

決算に関する主な質疑 安定的医療の提供へ

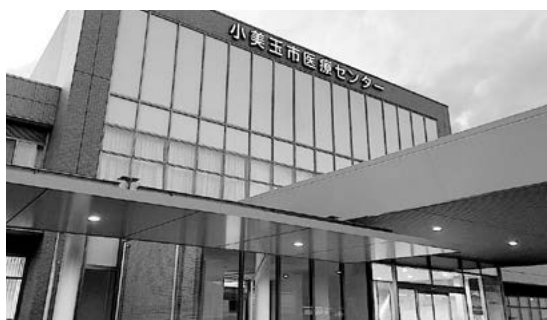
医療センター経営改革事業

地域医療存続交付金1億2,974万円(前年度比0%)

小美玉市医療センター開院時の建設費及び病院運営のための安定的な医療提供体制確保を目的として交付される交付金

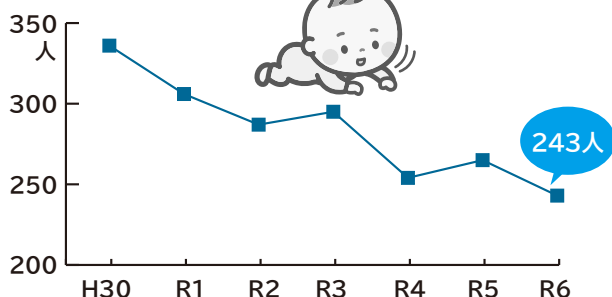
◎現時点で、小美玉市医療センターの経営状況をどのように分析しているのか。

▲内科常勤医師の増員により、外来患者数は毎年増加しており、令和6年度は前年対比3306人増加の5万5151人で、それに伴い医療収益も増加している。令和6年度の経常損益は8731万円の赤字だが、令和3年度の約2億円の赤字からは大幅に縮小しており、医師の働き方改革や物価高騰など厳しい状況下においても、経営努力の結果が見られ、改善していると捉えている。



小美玉市医療センターは(医)古宿会が運営しており、内科や小児科を含む12の診療科が設置されている。

市出生数



小美玉市医療センターの診療科一覧

総合診療科	内科・循環器内科・リウマチ内科
呼吸器内科	消化器外科
整形外科	耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科
泌尿器科	眼科
皮膚科	脳神経外科
リハビリテーション科	小児科



低額所得者への住宅供給

住宅管理事務費

557万円／前年度比375%

住宅に困窮する低額所得者に対し、安価な家賃で賃貸する市営住宅を供給することで、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。

◎耐用年数を経過している住宅の退去状況は進んでいるのか。また、退去後の住居の確保状況は。

▲耐用年数を経過している住宅は、「公営住宅等長寿命化計画」などに基づいて解体を予定。現在、市営住宅の入居者へは、市営住宅の用途廃止に伴う移転の交渉を実施。退去後の住居は市営住宅への移転希望者が多いことから、新規募集を控え、空き部屋を確保している。県営住宅への希望者には、スムーズな入居のため、県住宅担当に取次ぎするなどの対応に努めている。



市営住宅は老朽化が進んでいる。市では、現在7か所の市営住宅を管理している。

空き家対策早急に

空家等対策推進事業

153万円／前年度比-46.8%

特定空家などの措置の推進を図るとともに、空家等の活用対策を推進する。

◎空き家の利活用を推進するに当たり、どのような対策を講じたのか伺う。

▲市で把握している空き家は1154軒であり、管理不全になる前の対策として、おくやみデスク窓口や水道休止届などの手続時に、空き家バンク登録への啓発チラシを配布している。

◎今後は空家等管理活用支援法人（現在は1団体を指定）に別団体を追加指定し、新たな事業展開を実施する予定である。

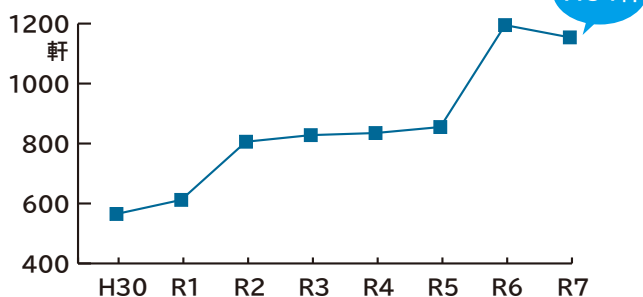


市内の空き家は把握しているだけで1154軒。利活用の推進など、早急な対応が求められる。

市営住宅一覧と建設年度

住宅名	建設年度	募集状況
大黒団地	平成3年	募集停止
大塚団地	昭和61年	
ハトリ第2団地	昭和58～60年	
雷神前住宅	昭和60年	
上吉影住宅	昭和51年	
下田住宅	昭和45～46年	
山川住宅	昭和41～42年	

市で把握している空き家の数





防犯機能付き電話の
購入費補助については
こちら
(市HP)



特殊詐欺防止の電話機購入に上限5000円の補助

職員勤務時間、休暇等
に関する条例の改正
介護休暇の取得
◎介護休暇等取得
している職員はどの
くらいなのか。
A有給で5日間取得
できる短期介護休暇
制度を利用している
職員が4名いる。状
況に合わせて1日単位
でも取得が可能。

一般会計補正予算
特殊詐欺対策機器購
入補助金10万円
◎防犯対策経費の特
殊詐欺対策機器購入
補助金10万円につい
て、対象機器と補助
率は。
A録音機能付き電話
機で、購入費用額の
2分の1、上限50
00円の補助をする
ものである。

総務常任委員会

小美玉市議会は3つの常任委員会(総務・文教福祉・産業建設)を設置しています。
議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。
第3回定例会の議案審査から、主な質疑をお知らせします。

ピックアップ

委員会審査

総務常任委員会

委員長：長津智之
副委員長：真家功
委員：荒川一秀・山崎晴生・
戸田大我・鬼田岳哉

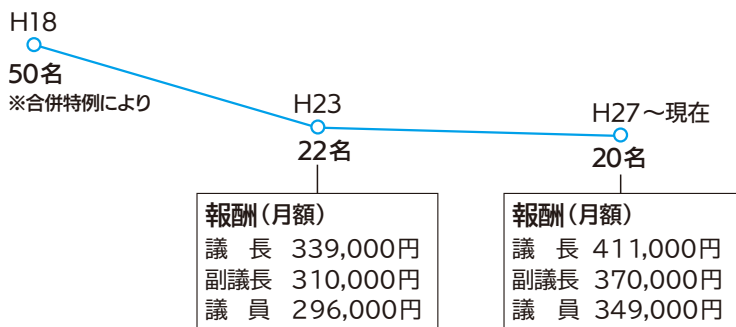
文教福祉常任委員会

委員長：石井旭
副委員長：島田清一郎
委員：大槻良明・谷仲和雄・
鈴木俊一・内田和彦・
宮内勇二

産業建設常任委員会

委員長：村田春樹
副委員長：福島ヤヨビ
委員：市村文男・田村昌男・
岩本好夫・香取憲一

小美玉市の議員定数と報酬の推移





空のえき そ・ら・らの
最新情報は
こちら
(そ・ら・ら公式HP)



在宅医療介護連携の推進
に係る事業については
こちら
(市HP)



地域再生の拠点として整備 空のえき「そ・ら・ら」

地域再生拠点施設の設定
及び管理に関する条例の
一部改正

空のえき「そ・ら・ら」
指定管理者移行へ

Q 地域再生拠点施設
である空のえき「そ・
ら・ら」の指定管理
者移行に向けたスケ
ジュールは。

A 指定管理者の募集
を本年9月下旬まで
行い、10月に指定管

理者選定委員会で候
補者を選定。指定管
理者の指定に関する
議案を上程し、議決
されれば、来年4月
を目標に指定管理者
へ移行する予定。

Q 既存の物産館や直
売所はどうなるのか。

A 施設の継続使用の
希望を事業者に確認
し、指定管理者に情
報提供する。

産業建設常任委員会



美野里中学校体育館

学校体育施設の開放に関
する条例の一部改正

施設使用料の減免

Q 施設使用料の減免
を受けている団体の
取り扱いはどうなる
か伺う。

A 施設使用料のみ減
免の対象としており、
空調設備の使用料は
減免の対象としてい
ない。

介護保険特別会計補正予算
在宅医療・介護の充
実

Q 在宅医療・介護連
携推進会議の委員構
成や内容、開催数は。

A 医師会、病院、介
護事業所、保健所な
どで構成し、在宅医
療に関して様々な意
見をもらう場として
設置。令和7年度は
1回開催の予定。

文教福祉常任委員会

議会
トピックス

動き出す
議会のいま

議員発議

検討を／
始めます「議員定数・議員報酬」

小美玉市の適正な議員定数と報酬の
調査・研究を行い、改選後の次代
を担う議員に反映させたい。



岩本委員長

鈴木副委員長

9月22日、議員定数報酬等調査特
別委員会が新たに設置されました。

委員長は岩本好夫議員、副委員長
は鈴木俊一議員が互選により任命。
特別委員会では、議員定数や報酬等
の適正性について、議会の考え方を
市民に明らかにするため、調査・研究
が行われます。

一般質問

12議員の視点と提案

谷仲 和雄 議員 …… P13

- ・重層的支援体制整備、国の方針転換への対応
- ・学校給食について

山崎 晴生 議員 …… P14

- ・ケアプランデータ連携システム普及支援を
- ・消防職員の環境

鬼田 岳哉 議員 …… P14

- ・小美玉市での「道の駅」見解は？
- ・ブランドメッセージの検証
- ・道路維持管理業務（除草）
- ・ヘルメット補助金の対象拡大を

福島ヤヨヒ 議員 …… P15

- ・市民活動を支える公共施設の在り方は
- ・有機フッ素化合物対策
- ・スズメバチ対策

香取 憲一 議員 …… P15

- ・市内居住外国人対応窓口一元化を要望する
- ・妊産婦支援について

真家 功 議員 …… P16

- ・中央線の延伸は可能性を残しているのか
- ・百里基地対策について

戸田 大我 議員 …… P10

- ・未利用財産の利活用には高いハードルを
- ・狭隘道路の整備状況

鈴木 俊一 議員 …… P11

- ・生徒の学ぶ意欲に変化はないか
- ・新型コロナウイルスの状況
- ・入札について

宮内 勇二 議員 …… P11

- ・希望ヶ丘公園のコスモス・菜の花の今後
- ・スマート農業の推進について

内田 和彦 議員 …… P12

- ・小学生の下校時における熱中症対策は
- ・気候変動による自然災害

村田 春樹 議員 …… P12

- ・妊産婦タクシー利用料助成事業について
- ・地域おこし協力隊について

石井 旭 議員 …… P13

- ・「旧下吉影小学校」利活用の進捗状況は
- ・定額タクシーについて

一般質問とは…市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。



未利用財産の利活用には高いハードルを

とだ だいが
戸田 大我



録画映像

答弁 広く市民の利益に資する企業誘致を図る



▲旧玉里北小学校跡地（栗又四ヶ地内）

問 旧玉里地区の廃止となった小学校等の未利用財産の利活用方針を問う。

答 副市長 旧玉里北小学校は地域住民の関心が非常に高いことから、民間提案制度の活用によって、市の施策や地域への貢献度といった、より高度な公益性を求め、企業誘致を検討する（進入路の整備も検討している）。旧玉里幼稚園は、地域課題への適応度や雇用・経済波及効果などの公益性を企業誘致の条件とする。旧玉里東小学校は当面の間、市の保有地として管理する予定。



▲市内の狭隘道路

◎その他の質問
・小美玉市の今後の国際交流事業について
・落雷による停電時の対応について

問 狭隘道路の整備状況

答 要望箇所の道路整備の課題と今後の対応について市の考えを伺う。

問 都市建設部長 道路整備の要望は現在、316件中128件が未着手となっているが、財源の確保が困難などの要因で整備完了までに長い年数を要している。事業の長期化を避けるためにも、今後は早期の見極めによる整備の進捗を図ることが必要である。



生徒の学ぶ意欲に変化はないか

すずき しゅんいち
鈴木 俊一



録画映像

答弁 年度によっての大きな変化は見られなかった

問

県立高校の第2次募集において、英語や数学などの入学試験がなく、面接等で合格したり、定員割れしている県立高校では、ほぼ全員合格したりする状況である。高校入試の変化によって、生徒の学ぶ意欲に変化はないか伺う。

答

教育長 全国学力・学習状況調査の生徒質問調査では、学ぶ意欲の指標とされている質問項目の「これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」において、年度によっての大きな変化は見られなかった。本市では学ぶ意欲を高めるために、各学校で授業改善に取り組んでいる。

問

新型コロナウイルスの状況

答

保健衛生部長 令和2年以前は全国的に顕著な超過死亡は確認されなかったが、令和3年4月から6月に通常の年と

比較して高い超過死亡が確認され、令和4年2月にかけて新型コロナウイルスの流行の波と重なるように超過死亡が確認されている。

また、厚生労働省超過死亡研究班の日本の超過及び過小死亡数ダッシュボードから茨城県のデータを読み取ると、平成29年から令和2年までの予測閾値上限を上回る死亡数は270人、令和3年から令和6年までは1703人となっている。

入札について

問

物価高騰が続く中、市の発注する業務における対応について伺う。

答

総務部長 物価高騰への対応として、最新の労務単価や資材単価を用いての算出を行い、その他物品等については、適宜、見積りを活用するなど実勢価格に近い予定価格の算出となるよう周知している。

☑ 超過死亡数…過去のデータから予測される死亡数を超える死亡数のこと



希望ヶ丘公園のコスモス・菜の花の今後

みやうち ゆうじ
宮内 勇二



録画映像

答弁 幅広い視点に立った土地利用の検討が必要

問

コスモス・菜の花畑の事業終了になった経緯と今後のビジョンについて伺う。

答

産業経済部長 連作障害や天候不良の影響により、コスモスと菜の花の開花状況が悪く、委託先からも作業者の高齢化に伴い、受託が困難であるとの意見があった。これらを総合的に勘案し、観光事業として終了とした。今後は、まちづくりに関する様々な課題や市民ニーズなどを踏まえつつ、継続性を意識した幅広い視点に立った土地利用の検討が必要であると考えている。

要望

将来性の高いエリアのため、市で計画的に土地を取得し、希望ヶ丘公園と一体的に整備し、新たなまちづくりの拠点として利活用いただきたい。



▲コスモス畑（中台地内）

スマート農業の推進について

問

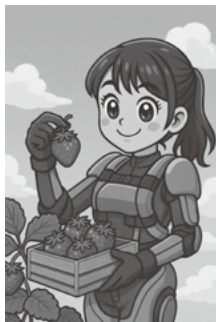
本市独自の支援や研修の可能性、そして今後の方針について伺う。

答

産業経済部長 国・県の動向を踏まえながら、補助要件の検討や操作技術の普及など、引き続き関係機関と連携し、予算の確保も含め、スマート農業（☑）導入の支援に努めていく。

要望

アシストスーツ（☑）は国や県の支援事業の対象になりづらい面があり、先端技術の普及促進の観点からも市が主導して認定農業者などが主導して認定農業者など担い手を中心とした実体験を開催し、多くの農業者の有効性を理解してもらう機会を設けるとともに、市独自の予算措置を含む導入支援事業についても検討していただきたい。



▲アシストスーツ（イメージ）

☑ スマート農業…ロボット技術やAIなどの先端技術を活用し、生産性向上などを旨とする革新的な農業
☑ アシストスーツ…モーターアシストなどにより、農作業中の腰や腕への負担を軽減する着用型の器具



小学生の下校時における熱中症対策は

うちだ かずひこ
内田 和彦



録画映像

答弁 ネッククーラー冷却施設設置を検討していく



▲登下校する小学生

問

下校時の熱中症リスクがかつてないほど高まっている。そのため、下校時にもネッククーラー(図)や冷却タオルなどが活用可能な環境整備として、冷蔵庫の運用や設置などが実施・検討されているか伺う。

答

教育長 現在、ネッククーラー冷却用の設備は設置していない。また、既存の冷却設備(一般家庭用冷蔵庫)で全ての児童生徒に対応することは困難なため、下校時は冷却タオルを推奨するなど対応している。今後、学校管理下における登下校時のネッククーラーの利用状況や児童生徒・保護者からのニーズなどを把握し、検討していく。

問

気候変動による自然災害

気候変動の影響で豪雨災害は増加傾向にあり、記録的な大雨や線状降水帯の発生などで豪雨災害の頻発化、激甚化が進んでいる。浸水被害対策として事前の備えと浸水が起きた場合の対応を伺う。

答

総務部長 浸水被害に対する事前の備えについては、定期的な道路パトロールによる排水溝の確認や、台風等の警報予想による大雨が降る前に、排水溝の清掃等を実施している。浸水後の対応については、現地の状況を確認し、道路を通行止めするなど必要な安全確保を行っている。

図 ネッククーラー…首元に装着し体温の上昇を抑えるための冷却アイテム



妊産婦タクシー利用料助成事業について

むらた はるき
村田 春樹



録画映像

答弁 ニーズを反映した制度の見直しを進めていく

問

妊産婦タクシー利用料助成事業の利用状況と課題について伺う。

答

福祉部長 昨年度から事業を開始しているが、現在まで利用者はいない。今後は、利用実績がないことを踏まえ、対象者のニーズを反映した制度の見直しを進め、利用周期の修正、助成内容、助成額の見直しを図り、妊産婦が安心して出産・子育てに臨める環境整備を進めていく。

要望

妊産婦が使いやすいよう、母子健康手帳を配布したとき、もしくは母子健康手帳がもらえる前段階の、つわりの辛い時期に妊産婦タクシーが使えるような制度が可能であればお願いしたい。また、出産後も1歳未満まで使用できるようにしていただき、子どもが病気になる際にも母子共にタクシーの利用が出来るよう、見直しの際には検討していただきたい。

問

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊の現状を伺う。

答

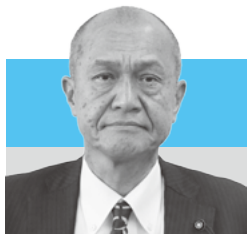
市長公室長 本市初の地域おこし協力隊は、農業従事者の高齢化等による担い手減少といった地域課題に取り組みためとしており、3名の隊員については、イチゴや水稻栽培を主とする農業経営に必要な知識や技術習得に向け、指導者である受入先農家の下で日々農業に従事し、併せて隊員活動や本市の魅力発信に関するPR活動も行っている。

問

課題とサポート体制を伺う。

答

市長公室長 隊員が抱えている様々な心配や課題に対しては、心理的なサポートが重要であると捉え、日々のコミュニケーションの良好な関係づくりに努めるとともに、連絡・相談の機会を目的とした定期的な活動報告会や、状況に応じた面談の場を設けるなど、サポートしている。



『旧下吉影小学校』利活用の進捗状況は

いし い あきら
石井 旭



録画映像

答弁 民間提案を募集し令和9年3月までに譲渡目指す



▲旧下吉影小学校（下吉影地内）

問 利活用に向けた現状と今後の方針、また、地域貢献策として体育館の地元利用を望むが見解を伺う。

答 副市長 これまで21社の民間事業者が旧下吉影小学校跡地の現地視察を行ったが、固定資産税が算出されていないなどの理由により、売却に向けた交渉が進んでいない状況である。今後は「未利用財産利活用方針（☐）」に基づき、「民間提案制度」を活用し、建物評価が終わる12月頃から募集を開始したいと考えている。民間提案制度の募集要領には、提案内容の実現性のほか、地域貢献度などに資する提案を重視し、体育館の地元住民への解放などの提案を考慮し

問 福祉タクシーと定額タクシーの両方で本格運行するのか伺う。

答 都市建設部長 定額タクシーは、福祉タクシー券の不公平感を解消することを目的の一つとした高齢者の移動手段の支援である。両制度を統合した新たなサービスについては、調査研究を進めていく。

問 福祉タクシーと定額タクシーの両方で本格運行するのか伺う。

答 都市建設部長 定額タクシーは、福祉タクシー券の不公平感を解消することを目的の一つとした高齢者の移動手段の支援である。両制度を統合した新たなサービスについては、調査研究を進めていく。

問 定額タクシー『おみたく』の本格運行に向けた改善点と今後のスケジュールを伺う。

答 都市建設部長 改善点は、22時以降の利用や登録証の第三者への貸出行為と思われる利用などの不適切利用が挙げられる。今後のスケジュールは、本制度の利用実績を検証し、定額タクシーと福祉タクシー券を融合した新たなサービスについては、地域公共交通会議で令和8年度中の本格運行に向け、検討していく。

問 定額タクシー『おみたく』の本格運行に向けた改善点と今後のスケジュールを伺う。

答 都市建設部長 改善点は、22時以降の利用や登録証の第三者への貸出行為と思われる利用などの不適切利用が挙げられる。今後のスケジュールは、本制度の利用実績を検証し、定額タクシーと福祉タクシー券を融合した新たなサービスについては、地域公共交通会議で令和8年度中の本格運行に向け、検討していく。

問 定額タクシー『おみたく』の本格運行に向けた改善点と今後のスケジュールを伺う。

答 都市建設部長 改善点は、22時以降の利用や登録証の第三者への貸出行為と思われる利用などの不適切利用が挙げられる。今後のスケジュールは、本制度の利用実績を検証し、定額タクシーと福祉タクシー券を融合した新たなサービスについては、地域公共交通会議で令和8年度中の本格運行に向け、検討していく。

ていく。令和9年3月までには、民間事業者へ建物を譲渡できるよう引き続き尽力していく。

☐ 未利用財産利活用方針…市の財産の適正管理と積極的な利活用（譲渡・貸与等）の推進を目的に定めた方針



重層的支援体制整備、国の方針転換への対応

や な か か ず お
谷 仲 和 雄



録画映像

答弁 地域ケアを重層支援会議の運営に近づける

問 重層的支援体制整備事業（☐）における国の方針転換を受け、茨城県地域ケアを活用したファミリー支援を進めては。

答 福祉部長 令和7年度より重層的支援体制整備事業の内容に変更が生じており、多機関協働事業等に係る交付基準額では3100万円から2100万円に減額となる。また、事業の民間委託は原則禁止となり、本市では、多機関協働事業は社会福祉協議会へ委託する想定で進めていたため、市直営による事業実施が求められることにより、想定していた組織体制の見直しが必要となる。そのため、現行の茨城県地域ケアシステム事業に新たな支援対象として生活困窮並びに子育て世帯を含めた運営により、重層支援体制の構築が可能であるが、福祉部内の組織改編を含め検討していく。地域ケアシステムへの参画関係者を見直し、重層支援会議の運営に近づける変更を行うことにより、国の交付金を

問 重層的支援体制整備事業（☐）における国の方針転換を受け、茨城県地域ケアを活用したファミリー支援を進めては。

答 福祉部長 令和7年度より重層的支援体制整備事業の内容に変更が生じており、多機関協働事業等に係る交付基準額では3100万円から2100万円に減額となる。また、事業の民間委託は原則禁止となり、本市では、多機関協働事業は社会福祉協議会へ委託する想定で進めていたため、市直営による事業実施が求められることにより、想定していた組織体制の見直しが必要となる。そのため、現行の茨城県地域ケアシステム事業に新たな支援対象として生活困窮並びに子育て世帯を含めた運営により、重層支援体制の構築が可能であるが、福祉部内の組織改編を含め検討していく。地域ケアシステムへの参画関係者を見直し、重層支援会議の運営に近づける変更を行うことにより、国の交付金を

問 重層的支援体制整備事業（☐）における国の方針転換を受け、茨城県地域ケアを活用したファミリー支援を進めては。

答 福祉部長 令和7年度より重層的支援体制整備事業の内容に変更が生じており、多機関協働事業等に係る交付基準額では3100万円から2100万円に減額となる。また、事業の民間委託は原則禁止となり、本市では、多機関協働事業は社会福祉協議会へ委託する想定で進めていたため、市直営による事業実施が求められることにより、想定していた組織体制の見直しが必要となる。そのため、現行の茨城県地域ケアシステム事業に新たな支援対象として生活困窮並びに子育て世帯を含めた運営により、重層支援体制の構築が可能であるが、福祉部内の組織改編を含め検討していく。地域ケアシステムへの参画関係者を見直し、重層支援会議の運営に近づける変更を行うことにより、国の交付金を

問 重層的支援体制整備事業（☐）における国の方針転換を受け、茨城県地域ケアを活用したファミリー支援を進めては。

答 福祉部長 令和7年度より重層的支援体制整備事業の内容に変更が生じており、多機関協働事業等に係る交付基準額では3100万円から2100万円に減額となる。また、事業の民間委託は原則禁止となり、本市では、多機関協働事業は社会福祉協議会へ委託する想定で進めていたため、市直営による事業実施が求められることにより、想定していた組織体制の見直しが必要となる。そのため、現行の茨城県地域ケアシステム事業に新たな支援対象として生活困窮並びに子育て世帯を含めた運営により、重層支援体制の構築が可能であるが、福祉部内の組織改編を含め検討していく。地域ケアシステムへの参画関係者を見直し、重層支援会議の運営に近づける変更を行うことにより、国の交付金を

頼らず、新たな予算措置を行わなくても国が提唱する重層支援体制に近づけた運用は可能と考えている。



▲中学校給食を試食（9/18）
鶏南蛮うどん、ほか 854kcal

問 食材費高騰に伴う対応は。

答 教育部長 学校給食は子どもたちが適切な栄養を摂ることで健康増進を図ることを第一の目的としている。財源確保に努め、質・量の要件を満たした学校給食の提供に引き続き努めていく。

問 食材費高騰に伴う対応は。

答 教育部長 学校給食は子どもたちが適切な栄養を摂ることで健康増進を図ることを第一の目的としている。財源確保に努め、質・量の要件を満たした学校給食の提供に引き続き努めていく。

頼らず、新たな予算措置を行わなくても国が提唱する重層支援体制に近づけた運用は可能と考えている。

☐…重層的支援体制整備事業…困難な課題を抱える人・世帯に対し、今ある制度や事業を活かしつつ、支援体制の垣根を越えて、包括的に支援できるよう、行政、地域、支援機関など様々な部署が重なりあって支援する事業



ケアプランデータ連携システム普及支援を

やまざき はるお
山崎 晴生



録画映像

答弁 制度活用し普及促進を図る

問

ケアプランデータ連携システム(☑)導入に向け、市の支援と普及促進について伺う。

答

福祉部長 国が整備を進めるケアプランデータ連携システムは、介護事業所の業務効率化や生産性向上につながる重要な取り組みであると認識している。本市としても国や県の制度を活用しながら導入の普及促進に努めていく。導入費用や運用に係る課題もあるが、現場職員の負担軽減を図り、利用者と向き合う時間を確保できるように積極的に取り組んでいく。

要望

介護事業者の経営環境は依然厳しく、導入費用やランニングコストの負担は大きい。現場職員が安心してシステムを活用できるよう、市として積極的な支援をお願いしたい。

消防職員の環境

問

消防職員の働く環境改善に向け、市の取り組み状況を伺う。

答

消防長 本市消防本部では、業務の高度化や多様化に対応するため、ハラスメント防止研修の実施やメンタルヘルス相談窓口の整備を進めている。また、人材確保として採用説明会や広報活動を強化しており、今後も職員が誇りを持つて勤務できる環境づくりに努めていく。

要望

市民の命と財産を守る最前線に立つ消防職員が、安心して働ける環境整備は喫緊の課題である。人材確保と併せて、職員が誇りとやりがいを持ち続けられるよう、市の積極的な取り組みを要望する。



▲小美玉市消防本部(小川地内)

☑ ケアプランデータ連携システム…居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、オンラインで完結できる仕組み



小美玉市で「道の駅」見解は？

おにた たけや
鬼田 岳哉



録画映像

答弁 地方創生を進める有効な手段と認識

問

全国的に道の駅が活況である。小美玉市の考え方や方針は如何に？

答

市長公室長 現在、国道(仮称)小美玉道路の調査等が進められており、道の駅整備に関する検討材料となりうる。来年度から進める第3次総合計画(☑)において、まちづくりの将来像と核となる施設を位置づける際に、地域活性化を図るひとつの手段として、検討してまいりたい。

ブランドメッセージの検証

問

ブランドメッセージ(☑)が誕生して5年が経過。発信状況や効果、今後の方針は？

答

市長公室長 広報紙、HP、名刺、ネームストラップ、記者会見時のバックボード等を通じて発信している。シビックプライドの醸成に寄与したと考えるが、今後は戦略的に市外に発信することともに、心に響く補助的な「キャッチフレーズ」の採用を検討したい。

道路維持管理業務(除草)

問

道路維持管理業務の現況と今後の方針は？

答

都市建設部長 市民からの要望は増加傾向にあり、特に酷暑による草の成長が著しく、除草対応が課題。提案のあった、遠隔操作での除草機械等の導入は、先進事例を参考にしながら、業務効率化に向けて、関係部局と調査・研究を進めていく。

ヘルメット補助金の対象拡大を

問

ヘルメット着用の努力義務化を受けた対応や課題は？

答

総務部長 中学校を卒業した15歳以上の市民を対象に、ヘルメット購入費の一部補助を実施。課題である補助利用率、及び着用率を高めるため、提案のとおり「中学在学中の方は除く」という文言を削除し、高校入学前にヘルメット補助を利用できる制度を検討していく。

◎その他の質問
自治体の停電対策に関して

☑ 総合計画…市の都市計画、環境、福祉といったすべての計画の基本となる「まちづくりの最上位計画」

☑ ブランドメッセージ…自治体独自の魅力や考え方、将来像などを簡潔に伝える言葉

本市：「ダイヤモンドシティ小美玉～見つける。みがく。光をあてる～」



市民活動を支える公共施設の在り方は

ふくしま
福島 ヤコヒ



録画映像

答弁 利用者が支障なく活動できる環境を整えていく

問

新まちづくり構想による新たな施設が検討されているが、市民活動を支える施設の在り方をどのように考えられているか伺う。

答

総務部長 新まちづくり構想では、「小美玉市公共施設等総合管理計画」等に基づき、施設の統廃合や機能移転、解体が計画されている。すべての解体する既存施設の面積や設備といった機能及び活動時間帯、活動日数、移動距離といった利便性を新施設と代替施設で担うことは物理的に困難である。そのため、利用者へ事前の周知と協議を実施し、既存の学校における地域拠点施設としての活用等を検討し、利用者が支障なく活動できる環境を整えていきたいと考えている。

有機フッ素化合物対策

問

市内の井戸から目標値の82倍になる有機フッ素化合物(☑)が検出されたが、対策を伺う。

答

市民生活部長 当該物質が検出され

スズメバチ対策

問

近年、スズメバチが増えている。駆除に係る補助制度の導入について伺う。

答

市民生活部長 県内では24市町村がスズメバチ駆除に係る補助制度などを既に導入している。近年、温暖化による活動期間の長期化などにより、スズメバチが増加している傾向にあるため、当局においても、補助制度導入に向けて調査研究を進めていく。

◎その他の質問

- ・子供の居場所づくり
- ・就学前の子供の発達健診
- ・ジエnder平等について

☑ 有機フッ素化合物…発がん性やコレステロール値の上昇など人体へ影響のある有害物質



市内居住外国人対応窓口一元化を要望する

かとり けんいち
香取 憲一



録画映像

答弁 多言語での情報提供と窓口機能に取り組む

問

外国人の皆さんへの相談窓口を一元化するスタートとして「多言語対応翻訳ボード」の導入をどうするか。

答

市民生活部長 市内居住外国人の現状は、平成19年の1311人と比べ、令和7年4月時点では約1.7倍の2229人に増加しており、市の総人口の4.62%に達し、他市町村と比較しても平均より高い水準である。国籍としては、ベトナム、インドネシアの方が50%以上を占めている。ディスプレイ型の多言語対応機器を含め、導入については調査を行いながら前向きに導入を検討していく。

問

外国人受け入れ体制整備の方向性について市長の考えを伺う。

答

市長 多文化共生の実現に向け、在住外国人が安心して暮らせる環境整備に努めていく。

妊産婦支援について

問

出産・子育て支援における「陣痛タクシー」の導入を提唱するが、市の見解を伺う。

答

福祉部長 「陣痛タクシー」はタクシー運転手の研修と365日24時間対応が必須となるため、市の現状として導入は難しい。しかし、産前産後の妊産婦移動支援の期間と助成金額の増額を検討し、来年度までの事業変更を進める。



▲翻訳ディスプレイ(イメージ)

☑ 陣痛タクシー…陣痛が始まった時に病院まで安全に送迎してもらえるタクシーサービス

- ◎その他の質問
- ・地方創生伴奏支援制度について



中央線の延伸は可能性を残しているのか

まい えいさお
真家 功



録画映像

答弁 紅葉石岡線まで開通後、交通状況により検討する

問

小美玉中央線の延伸は、地元、飯前地区から要望書を出している。具体的には、飯前地区を抜けてメロンロードへの延伸、さらには、県道大和田羽生線への延伸である。

いよいよ用地取得が終わり、県道紅葉石岡線までの開通が達成されようとしている。今後も延伸整備の可能性を残しているのか伺う。地元としては非常に心配している。市長の見解を伺う。

答

市長 小美玉中央線は、本市としても重要な路線と考えている。まずは、佐才地区から県道紅葉石岡線までの計画区間の全線開通を早期に実現していく。延伸については、完成後の交通状況などを考慮した中で検討していきたいと考えている。

要望

引き続き実現に向け、検討をお願いする。県の道路構想にある、茨城空港と東関東自動車道水戸線、茨城空港北インターチェンジを結ぶ(仮称)南北線との連携も

視野に入れるべきだと思う。必ずしも市道のための延伸でなく、県道を活かしてもよいと思う。

百里基地対策について

問

防衛省関連補助金の状況について伺う。特に、騒音地区、旧小川地区にどれだけ補助金が入っているのか、補助の状況及び周辺対策状況を伺う。

答

市長公室長 防衛省関連の補助金などについては、基地周辺対策に努めるための有効な財源となっている。引き続き、安定し交付がなされるよう要望していく。防衛省関連補助金は、再編関連訓練移転等交付金、特定防衛施設周辺整備調整交付金、民生安定施設整備事業補助金を活用し、騒音地域の道路改良、防犯カメラ、上水道更新等に充当している。共同訓練は迅速な情報提供を防衛省に要望し、住民周知も強化。地元協議会と連携し、共存共栄を図る。

議会のリアルを傍聴で！

日	月	火	水	木	金	土
	2025年 12月	2 議会運営 委員会	3 本会議 議案説明 開会	4 議案調査	5 議案調査	6
7	8 議案調査	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11 本会議 一般質問	12 常任委員会	13
14	15 常任委員会	16 常任委員会	17 特別委員 会予備日	18 議会運営 委員会	19 本会議 報告・採決 閉会	20
21	22	23	24	25	26	27

本会議 傍聴できます (モニター放映あり)
常任委員会 傍聴要確認 (モニター放映なし)

次の定例会は 12月3日(水)開会予定

- 議場は市役所本庁舎3階。予約不要／受付あり(氏名・住所等)
- 委員会等の日程は議会運営委員会(12月2日(火)開催)で決定します。議会事務局 Tel. 0299-48-1111(内線1302)にお問い合わせください。

ほかにもイロイロ



小美玉市議会 議会中継

本会議の様子は市のホームページからインターネットで配信しており、パソコン・スマートフォンから視聴できます。(録画映像なら、いつでも・どこからでも！)



市役所本庁舎
小川総合支所
玉里総合支所
それぞれの1階ロビーにあるTVモニターでもご覧いただけます。(受付不要です)

声をカタチに・・・

令和7年7月5日（土）13:30～16:00

市役所本庁舎2階 会議室

参加者：市民18人、議員16人

「語り合う場」がまちを育てる

市民と議会の意見交換会を開催しました！

就学前～高校生

- 「3歳未満児すべての保育料を無償化してほしい」
- 「通学路の安全整備が必要」
- 「中学校の学力低下が不安」
- 「ライフデザイン相談窓口を設置してほしい」

妊娠・出産

- 「出産できる病院がないのは不安」
- 「妊娠期からの相談窓口を充実してほしい」

出会い

- 「まず出会いの場が少ない」
- 「花火大会やフェスを活用した出会いの場の創出や出会いの場づくりに補助金を出してほしい」

テーマ
小美玉の

どう
思っ
て？



少人数のワールドカフェ形式で



6つのテーブルそれぞれで議論白熱の場面も



市民と議員みんな一緒に 対話のあとに笑顔でパチリ！

議会から

- アンケートでは90%の方が「充実した意見交換ができた」と回答。
- いただいたご意見やアイデアは、市政に反映できるよう生かしてまいります。
- 今後も市民の皆さんとの対話を通じ継続的な議会改革を推進していきます！

応募締切
11/30
※当日消印有効

＼知りたい・聞きたい・みなさんの声／ (第76回) 読んで当てよう! ぎかいクイズ

正解者の中から抽選で10名にQUOカード2,000円分を進呈!

Q1 一般質問を行った
議員の人数は〇〇人

Q2 一般質問で道路
維持管理業務に
関して答弁したのは
〇〇〇〇部長

Q3 次の令和7年第4回
定例会は
12月〇日開会予定

「クイズ3問の答え・ご住所・氏名」を明記して、右の
いずれかの方法でご応募ください。議会へのご意見
や議会だよりに対するご感想もお待ちしております!



応募はこちらから

〒319-0192 小美玉市堅倉835
小美玉市議会事務局宛

FAX 0299-48-1199
gikai@city.omitama.lg.jp

当選者の発表はギフトカード発送をもってお知らせします。応募に関する個人情報はプレゼントの送付以外には利用しません。

▶ 前回 第75回クイズの正解は… 問①…9 問②…市民生活 問③…3

地域の課題

5歳児健診の早期実現はとても大切だ
なと思いました。子どもも減ってきて
いますが、小児科の先生が減っている
のもいろいろな地域での課題だと思
いました。(筑西市・S)

子どもの意見も聞いて!

中学1年生なので詳しいことは分かりませ
んが、小美玉市がみんなにとって住みやす
い場所になると良いなあと思います!子ど
もの意見も聞いてほしいです!(上玉里・Y)

楽しみな空港イベント

茨城空港や、そらで行って
いるイベントすごく楽しみ。夏
はいろいろなイベントで盛り上
がって楽しそう。(堅倉・I)

議会にとどいた 市民のホンネ

前号のクイズ応募時に寄せられたご意見や
感想の一部をご紹介します!



市民の声
全文はこちら
(議会HP)

読みたくなる紙面に

今回初めて見ました。これか
らもう今回のように、読んでみ
たくなる、読み進めやすい形
式で発行よろしく願いしま
す。(羽鳥・T)

議会を見た!

一度皆様の活躍している議会
を見て見たいと思っておりま
す。ますますの小美玉市の発
展を祈りつつ!(飯前・I)

思い・考えが分かる

広報紙を拝見しますと、議員
さんの市政に対する思いや
考えが分かります。自分の住
んでいる小美玉市なので、こ
れからも広報紙を読んで活
動を把握し、理解していこう
と思います。(羽鳥・T)



今号の表紙「市民 interview」

新しく生まれ変わった議会だよりになんて登場し
てくれたのは佐川凜奈ちゃん(下吉影)です。
「第2人の面倒をよくみて、お姉ちゃんとして頑張
っています♪」とご両親。議会だよりも負けずに進
化していきます!

編集のそのあとで

「いかがでしたか? リニューアル号」

リニューアルした「おみたいむ・議会のちょっといいはなし」、いかがでしたでしょうか。
少しでも見やすく、手に取っていただけることを目標に、広報委員と議会事務局が
一丸となり、紙面刷新が実現しましたが、紙面の完成にゴールはありません。
市民の皆様にもご登場いただき、議会への様々な声やご意見を紙面に反映してまい
ります。これからも「おみたいむ」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行 小美玉市議会
(発行責任者…議長 長島幸男)
編集 広報特別委員会

TEL 0299-48-1111 内線(1302)
FAX 0299-48-1199

〒319-0192
茨城県小美玉市堅倉835
本庁舎3階